

# 四日市市ゼロカーボンシティ宣言

四日市市は、西に鈴鹿山脈、東に伊勢湾を望むすばらしい自然に恵まれ、また、臨海部には石油化学コンビナートを中心に多くの企業が立地しています。

このように、本市は日本のものづくりを支える重要な産業都市として発展してきた一方で、深刻な四日市公害が発生し、多くの方が健康被害などに苦しみました。その後、市民、企業、行政が一体となり、環境改善のまちづくりに取り組み、「環境先進都市」を目指してきました。

近年では、環境問題の中でも地球温暖化による気候変動の影響で、豪雨や猛暑などによる気象災害が増加しています。このような中、日本政府は2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を実質ゼロにする、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現を目指すこととしています。

本市としても、四日市公害の歴史と教訓を踏まえて、脱炭素への取組を強化し、将来にわたり四日市市の豊かな自然環境を次の世代につないでいく必要があります。

そこで、2050年までに二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言し、その実現に向けて、市民や事業者と一体となって全力で取り組んでまいります。

令和5年2月10日



四日市市長 森 智広

